

秀 賞

感謝の意味

新潟県柏崎市立東中学校

三年 遠 藤 さくら

「感謝の気持ちを持ちなさい。」

部活動のときによく言われる言葉だ。自分一人だけでは部活はできない。送り迎えをしてくれる家族、大会を運営してくださる方々、応援してくれる部活の仲間たち……。そうやって支えてくれる人たちがいるから、今全力で部活に打ち込めている。だから感謝の気持ちを持って練習しなさい。その通りだと思った。だから私は、そう言われてから感謝の気持ちを持って過ごすように心がけていた。しかしそれは、感謝をしているつもりであって、単なる自己満足に過ぎなかったのだ。

私があることに気づいたのは、昨年のある出来事があった。私には、一緒に暮らしている祖母がいた。いつもニコニコして家族みんなを笑顔にしてくれる。体は少し不自由だけど、とてもしっかり者でみんなを支えてくれる。私はそんな祖母のことが大好きだった。そして、感謝しているつもりだった。

しかし、昨年の夏、祖母が亡くなった。本当に急な出来事だった。最期は家族、親戚みんなで看取ることができたのだが、私はその時、あまりに突然すぎる出来事に、祖母に声をかけることすらできな

かった。

それからしばらくたち、気持ちの整理ができたころ、私はある不安が頭に浮かぶようになった。

「私は祖母に感謝を伝えられていたのだろうか。」

もちろん祖母には感謝の気持ちを持っていたし、大好きな気持ちは変わっていなかった。しかし、中学に入ってから学校も忙しくなり、自然と祖母と話す機会が減っていた。もともと祖母と話しておけばよかった。最期に何か声をかけてあげればよかった。そんな後悔が、時がたてばたほど自分の心の中でふくらんでいった。

この経験から私は、「感謝」という言葉に対して考え方が大きく変わった。自分が相手に感謝していると心の中で思っている、相手にはその十分の一も伝わっていない。相手にその気持ちが伝わって、初めて「感謝」ということが成り立つのだ。

そんなふうに考えるようになってから、私は感謝を相手に伝える努力をしている。友達に物を拾ってもらったとき、家族にお弁当をつくってもらったとき……。そんなささいなことでも、毎回必ず「ありがとう。」のように、感謝を口に出すようにしている。また、表情や行動で伝えることもできると思う。自分が笑顔でいることで、自分がうれしさを相手に表現することができるし、相手にとってプラスになるような行動をとれば自分が相手を良く思っていることが示せる。例えば部活だったら、準備、片づけなどを積極的に行うこと、試合で良いプレーをすること。そうすることで、先生、仲間、家族などに恩返し、つまり感謝を伝えられるのだ。

亡くなった祖母へは、もう直接感謝を伝えることができない。しかし、あの夏の、あの経験があったからこそ、感謝の意味を考え直すことができたのだと思う。そして今、自分が直接会って話ができる人

はたくさんいる。そういう人たちへは、できるだけたくさん自分の感謝の気持ちを感じてもらえるように、これからも努力していきたいと思う。

私たちは普段、たくさんの人たちに支えられて生きている。誰の手も借りず、たった一人で生活できる人はいないはずだ。もちろんそのことを理解して、感謝していると言う人も多くいるだろう。しかしそれは、本当に相手に伝わっているのだろうか。「ありがとう。」感謝の言葉を口に出すのは少し照れくさいかもしれない。だったら、いつもより笑顔でいるように意識したり、相手を手伝ってあげたりすれば良い。感謝を伝える方法はたくさんあるのだ。みなさんも、感謝を「伝える」という努力をしてみてほしい。相手に自分の気持ちが伝わったとき、その気持ちは本当の「感謝」になるだろう。